

学生のページ

〈研修先〉

医療法人弥生会 上田診療所

院長 上田通章 先生 (昭和56年卒業)

〒611-0012 京都府宇治市菟道平町17

TEL 0774-22-7586 FAX 0774-22-7586

研修期間：平成22年8月9日～12日

う え だ よ う こ
上田 陽子 (医学部第4学年)

同学年の岡田佳子さんと共に、京都府宇治市にある上田診療所にメディカルホームステイをさせていただきました。上田診療所は小児から高齢者までの幅広い年齢層の患者さんが来られる診療所で、デイサービスも併設されていました。研修先に上田診療所を選んだのは、地域医療に携わる医師の役割、診療所と他の病院・福祉施設との連携を学生のうちにしっかり見ておきたい、またCTやMRIなどの機器がない診療所でどのように診断し治療をしているのかを学びたいと思ったからです。

毎日の研修内容は、主に外来診察の見学、往診、デイサービスの見学、連携病院への訪問などでした。4日間で経験・学習したことは数多いのですが、特に印象に残っている事をいくつか紹介したいと思います。一番印象深かったのは外来診察の見学です。上田診療所は初診の患者さんも多く、夏期休暇前に医療面接の講義を受けたばかりの私は、「次は〇〇を聞くべきだろうな」などと想像しながら診察を見学でき、先生が患者さんに聞かれたことと、自分が考えたことの違いを確認することでとても勉強になりました。しかし、初診の患者さんの診断名を予想し、その治療法を思い浮かべるまでは及ばず、自分の知識の曖昧さや日々の勉強不足を痛感しました。私達が滞在した4日間だけでも本当に様々な疾患をもった患者さんが来所され、「ホームドクターは幅広く正確な知識を持っていないと、それぞれの患者さんに対応できない」という実際の現場を目の当たりにしました。ユニット講義を受けるだけで満足してしまいがちな私にとって、本当に良い刺激になったと思います。午前の診察が終わると、毎日3～4人の患者さんの往診に随行しました。往診では検査機器が限られるということで、聴診器の重要性が際立ちました。聴診の際は呼吸音・心音を聴き、以前の往診時と変化がないかをしっかり評価すること



左から奥様（薬剤師）、上田通章院長、筆者、岡田さん

が重要になります。実際に何人か聴診させていただきましたが、先生のアドバイスが無いと正確に聴くことができない心音もあり、1人で患者さんの全身状態を評価することの大変さや責任の重さを実感しました。

上田先生は往診の帰りに多くの病院を訪問されます。先生が他の病院に紹介した患者さんのその後の様子を見るためです。先生に会うと患者さんの表情はぱっと明るくなり、その様子を見るだけで、いかに先生が患者さんに信頼されているかがよく理解できました。また、それぞれの病院で私達も多くの先生方とお話をし、意見交換・情報交換をすることができ大変貴重な時間を過ごすことができました。上田先生には、ホームドクターとしての仕事の内容だけでなく、日々の勉強の仕方や学生生活を送る上で学ぶべき事、医師としての心構えなど、本当に様々な事を指導していただきました。この夏に学んだことをしっかりと胸に刻んでこれからも精進していきたいと思っています。

最後になりましたが、今回の研修でお世話になった先生をはじめご家族の皆様、診療所のスタッフの皆様、そして多くの患者さんにこの場を借りてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。